

12月

相手のがんばりを伝える（=よいところを見つける）と、
いつの間にか自分も元気になってしまうお話

校長 鈴木 正彦

12月に入り、寒さが一層厳しさを増してきました。雪化粧をした山々が目につくようになりました。子ども達は寒さに負けず学習や運動にがんばって取り組んでいます。

さて、12月の生活目標は、「相手のがんばりを伝え合おう」です。この生活目標をもとに、12月1日の全校朝会では、「相手のがんばりを伝えると、うれしい『おまけ』がついてくる」というお話をしました。

それでは、うれしい「おまけ」とは何でしょうか？

それは、「**いつの間にか自分も元気になってしまう**」ということです。

なぜでしょうか？

- 実は私たちの脳は、発せられた言葉が誰に向かって言っているのか区別できません。相手に向かって言った言葉でも、自分自身に言われたように脳は感じてしまいます。
- 「相手のがんばりを伝える」という行為は、相手のよいところを見つけることと同じです。

つまり、「相手のがんばりを伝える」ことは、自分自身にも「よいところを伝える」ことと、同じ行為となります。相手のがんばり（よいところ）を見つけ、それを相手に伝えれば伝えるほど、自分で自分自身にがんばり（よいところ）を伝えていると同じこととなります。がんばり（よいところ）を伝えてもらえば、だれでも心が温かくなり元気になりますので、**知らず知らずのうちに自分自身もどんどん元気になっていく**のです。まさに、うれしい「おまけ」です。



2学期も残すところ2週間となりました。ぜひ、お互い相手のがんばりを伝えあって、相手も自分も心から元気になり、二葉小学校305名が笑顔いっぱい2学期、そして1年の締めくくりができればと願っています。

保護者、地域の皆様、今年1年間二葉小学校の教育活動におきまして御理解と御協力をいただき感謝いたします。本当にありがとうございました。

新年1月7日（金）には、305名の元気いっぱいの笑顔に会えますことを、二葉小学校教職員一同、心より楽しみにしています。

それでは、よいお年をお迎えください。